

川崎市看護協会

Kawasaki Nursing Association NEWS ニュース

Vol.110

会員数 3,434人
(令和5年10月1日現在)

CONTENTS

- ・地域と病院の連携で必要とされる情報とは …… 1
- ・川崎市看護協会の委員会をご紹介します …… 2
(災害・救護委員会、広報委員会) …… 2
- (労働環境改善推進委員会、人材確保・定着推進委員会、推薦委員会、会員委員会) …… 3
- (看護プロボノ推進委員会、地域連携推進委員会) …… 4
- (教育委員会) …… 5
- ・川崎市看護協会トピックス …… 5
- ・お知らせ …… 6



〒211-0067 川崎市中区今井上町 1-34 和田ビル 3F
TEL.044-711-3995 <https://www.kawa-kango.jp/>
FAX.044-711-5103 E-mail:mail1@kawa-kango.jp



病院と地域の看護職の連携交流会

看護連携推進委員会 神奈川県訪問看護ST協議会川崎ブロック 共催

9/13(水)

テーマ

地域と病院の連携で必要とされる情報とは

病院と訪問看護が必要と考える情報を盛り込んだサマリー作成のために

参加者 46名

訪問看護 ST	29名
病院・クリニック	15名
川崎市健康福祉局	2名

開催場所：川崎市医師会館研修ホール



グループワークの様子



会場の様子

活動紹介

こんなこと企画しました

看護連携推進委員会では、令和3年度から病院と地域の看護的確な情報連携に向けて「看護サマリー」の検討に取り組んでいます。文字情報による連携の大切さや困難さを何度も協議し、昨年度からは川崎市立看護大学の難波教授にアドバイスをいただきながら進めてきました。今回の交流会では、委員会で考えた「病院に向けた訪問看護サマリー」を題材に、病院がサマリーで知りたい情報は何か、どうしたらより分かりやすくなるかについて、病院・クリニック等の看護師と訪問看護師が8つのグループに分かれて話し合いました。盛り込みたい項目や新たなシステム構築の案などが出され、活発な意見交換となりました。また、在院日数短縮などにより看護サマリー作成がタイムリーに行えない等の現状も病院・地域双方から伺うことができ、有意義な連携交流を行うことができました。交流会の成果を踏まえて、よりわかりやすく使いやすいサマリーについて、皆さんに参考にしていただける形にまとめていこうと考えています。来年度は「病院から地域への看護サマリー」を題材とする予定です。

委員長 日本医科大学武蔵小杉病院退院調整看護師 小駒 絵織



まとめ：難波貴代 川崎市立看護大学教授

●参加者から出された感想や意見

- ・病院・地域が求める情報の違いに驚いた
- ・患者のゴール設定を明確にして欲しい
- ・病院での病状説明の内容を知りたい
- ・ACP*の欄を設けては
- ・ICT活用
- ・患者の日常生活動作など QR コードで連携をしてみたい
- ・ジェノグラムで家族構成を記載し、視覚的な共有を図る など



看護連携推進委員会の紹介(ナーシングセンターの活動です) ……

市内の病院等の施設で働く看護職と訪問看護ステーション・行政等で働く看護職で構成され、入院や退院する際に患者や家族が在宅での療養生活を安全安心に過ごせるようにするために、退院前から退院後の療養生活における看護のスムーズな連携が図れるようにすることを目的に活動しています。今年度は8名の委員で活動しています。



(左)訪問看護ステーションタウナーズ 藤田副委員長(趣旨説明)、(右)日本医科大学武蔵小杉病院 小駒委員長(司会)

* ACP：アドバンス・ケア・プランニング。人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取組。「人生会議」という愛称もあり。(厚生労働省)

川崎市看護協会の委員会をご紹介します

1つめの委員会は
1頁に掲載!

災害・救護委員会

発足から5年目、特別委員会から常任委員会になりました。昨年までは災害時看護支援ボランティアの養成を中心に活動していましたが、災害時は多職種や地域の皆さんとの協力が大切ですので、今年度からは、ボランティア同士が、顔の見える関係を作れるよう身近な地域での防災訓練などへの参加に取り組んでいきます。

委員長 新城整形外科 伊藤 由美香



活動紹介 こんなことしました

災害時看護支援ボランティアの地域活動 ～これまでの参加状況～

中原区総合防災訓練 8/19(土)

会場：川崎市立住吉中学校

校庭に区割りされた「発災直後から数時間後エリア」にテントで、段ボールトイレや防災グッズの説明、リーフレットの配布を行いました。委員会委員1名とボランティア2名が参加し来場者の質問に、災害に関する不安な事への対応や、平時からの備えについて自らの経験を交えながら丁寧に説明していました。



川崎市看護協会のブース出展に参加した方たち



応急手当可能なテント

ボランティアと災害・救護委員の声

- ・関東大震災後100年の今年、気持ちを引締め取組みました
- ・立ち寄った方の多くが「防災の準備はしている。ただ中途半端なんだよね」と話されていた
- ・一般の方が、リーフレットの説明をすると関心を示して下さい、参加して良かったです

川崎市総合防災訓練 9/3(日)

(第44回九都県市合同防災訓練)

会場：川崎市立南菅中学校

ボランティア4名が参加し、大地震から3、4日経った避難所において、医師、歯科医師、看護職、薬剤師、事務職などの多職種で構成される1チーム3、4名の派遣医療チームの一員となり活動しました。避難者の中から容態の悪い人をスクリーニングし、いかに早く対応できるかが重要であり、大切な役割を担っていることを実感しました。



ゾーンに分かれて従事者達が対応



薬の配付の様子

ボランティアの声

- ・それぞれの役割の確認・共有が大切
- ・臨機応変に対応していく重要性を感じた
- ・他職種との連携や聞き取り方などアセスメント等の課題がわかった



参加した川崎市看護協会関係者と川崎市医師会原田副会長

広報委員会



「出版委員会」から「広報委員会」へ名称変更になりました。活動内容の方向性に変更はありませんが、協会の情報発信を協会ニュースの作成を中心に行っています。今年度はホームページのリニューアルやそれに付随する情報発信ツールの検討をしています。紙面へのご意見や掲載内容の希望なども随時募集しており、編集の参考とさせていただきます。皆さんからのご意見・ご応募を心からお待ちしています。

委員長 日本鋼管病院 八木下 泰弘



労働環境改善推進委員会

労働環境改善推進委員会では、生き生きと働き続けられる職場環境の改善を目指して取り組んでいます。労働環境の課題を把握し、対応を検討していきます。川崎市看護協会は、昨年に続き工学と看護が手をつなぐ科学技術「看民工学」を提唱しているナノ医療イノベーションセンターのプロジェクトCHANGEに参画し、研究者と協同する取組をしています。委員会は「看護のあったらいいな調査」や「研究者と看護のワークショップ」を実施し、貴重な声を集めてお届けする役割を担っています。是非、現場の声をお聞かせください。

委員長 聖マリアンナ医科大学病院 後藤 淳子



活動紹介 こんなことしました

委員会定例会と施設見学を ナノ医療イノベーションセンターで開催



先端工学技術の研究施設内を見学し、研究者から直接説明を受けることができ、「科学技術で看護の現場を変える(=労働環境改善)」ことへの実現に期待が膨らみました!

第2弾 看護の「あったらいいな」、たくさんお寄せいただき、ありがとうございました! 集計のご報告をしばらくお待ちください。



*8月1日(火)
日本経済新聞
(神奈川版)41面
プロジェクト
CHANGE
川崎市看護協会の
役割について掲載

人材確保・定着推進委員会

川崎市内で看護職の活躍の場を情報提供するとともに、定着を促進することを目標に『看護の魅力発見フェア KAWASAKI (仮)』を来年2月に開催するため検討を進めています。潜在看護師等の就職及び再就職を考える看護職に対して、市内循環型就業を促進・支援する活動を行います。

委員長 聖マリアンナ医科大学東横病院 森本 順子



昨年度まで「離職防止委員会」という名称で、新人から若手看護師の離職を防ぎ、川崎市内で長く働き続ける仲間を増やそうと、座談会などを企画し活動してきました。今年度から川崎市看護協会の重要課題でもある、市内の看護人材確保と定着促進を前面に掲げ「人材確保・定着推進委員会」と改称し、新メンバーでの活動が始まりました。

推薦委員会



推薦委員会の役割としては川崎市看護協会役員の推薦です。今年度は役員改選がないため、会員委員会と協力し協会会員を増員できるように、また会員同士の交流が深まるよう活動していきます。

皆さんの周りに未加入の方がいたら、是非入会を勧めてください。

委員長 川崎幸病院 南里 洋子



会員委員会

活動目標…新規会員の増加を推進します。
会員の交流を図ります。

活動内容…推薦委員会と協力して受入れ可能な病院での川崎市看護協会のPR活動や退会された会員へ、手紙による再入会のお声かけをし、新入会員を増やし退会者を減らす取組をしています。

委員長 川崎田園都市病院 的場 千江子



看護プロボノ推進委員会

今年度より「業務委員会」から「看護プロボノ推進委員会」へ名称変更をいたしました。『プロボノ』とは、専門家が職業上持っている知識やスキルを提供して社会貢献する活動を意味します。委員会では看護職が地域において看護の力を発揮し、市民の健康増進と安心の確保に取り組むこと。また、市民との交流を通じて自己研鑽及び人間的成長に寄与することを活動目標とし、協会の普及活動や自主活動グループの活動支援等に取り組んで参ります。



看護プロボノ推進委員会

委員長 日本医科大学武蔵小杉病院 本山 純子

活動紹介 こんなことしました

「看護自主活動支援助成金事業」を推進！ 助成対象事業の内容を看護プロボノ推進委員会が審査しました 対象となった3グループをご紹介します！

看護協会の 新たな取組

★おせっかいナースの会

地域の方を対象に、「人生の最終段階」をテーマに、もしもの時に大切にしたいことに気づき、大切にしたいことの実現に向けてきっかけを作る活動をしていきます。

★まちの減災ナース チームかわさき

地域の方を対象に、減災活動（災害時の備え、有事の際の応急処置、感染対策など）を地域の特性や対象者の年齢に合わせて実施していきます。

★Uber Education

市内の病院等で働く看護職を対象に、多重課題対応の演習や医療事故対応、感染対策など、ご希望を伺いながらプログラムを作成し出前講座を行います。

地域連携推進委員会

在宅療養を支える多職種との連携を図り、在宅看護の質を高める取組を目標としています。地域住民の方が、年齢を重ねても、病気になっても住み慣れた地域でその人らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、多職種の顔の見える関係を強化したいと思います。

委員長 川崎市立多摩病院 藤井 真樹



地域連携推進委員会

患者さん（利用者さん）は、様々な場所で生活をしており、連携は容易くありません。私たち医療・介護従事者は、ご本人の意向を実現するために何を大切にしたらよいのか、学びを深めたいと思いを企画しました。

活動紹介 私たちが企画しました

看取りにおける多職種連携交流会

43名参加(8職種)
会場20名、ZOOM23名

9/16(土)

～本人・家族が希望する最期の実現のために～

- ・歯科医師 ・歯科衛生士 ・理学療法士 ・ケアマネジャー
 - ・介護職 ・薬剤師 ・看護師 ・事務職
- 今回は初めて歯科医師、歯科衛生士の方が参加されました



一般社団法人プラスケア代表理事
川崎市立井田病院かわさき総合ケアセンター
(緩和ケア/在宅医療/腫瘍内科)
医師 西 智弘先生



講義の様子



ZOOM参加者のグループ発表



交流会後も話が尽きず…

「ACP（人生会議）とは、目の前にいるその人が“心配”であるがゆえに“おせっかい”で自然とするはずである会話です。普段からの何気ない会話の中から、どこに本当の思いがあるのかを引き出せるような介入・関わりが必要。」と西先生よりメッセージを頂きました。

副委員長 総合川崎臨港病院 吉松美雪

●参加者（会場・ZOOM）の感想

- ・ ACP のタイミングの難しさ
- ・ 早期から多職種が関与できる仕組み作りが必要
- ・ 西先生が行っている「暮らしの保健室」*の取組に感銘を受けた
- ・ 関わり方として、治療というより「その方の人生」と捉えてアセスメントし考えることが大切 など



*暮らしの保健室：一般社団法人プラスケア代表理事の西先生が行っている取組

教育委員会



看護研究や自施設での取組など、施設の枠を超えた学びの共有を目指し活動しています。川崎市立看護大学に看護研究の基礎から学ぶ研修と発表会のサポートをしていただいています。「看護研究・活動報告会」に是非、ご参加ください。

委員長 関東労災病院 徳永 智美

活動紹介 こんなことしています

今年度から『看護研究の実践(前編・後編)』に改称し、7月と9月の2日間、川崎市立看護大学の先生方や図書館司書の皆さんに講師をお願いし、教育委員会が中心となって研修会を開催しました。

『前編』は研究テーマの絞り込み、文献検索と文献検討、研究計画書の作成について、『後編』は研究中の疑問への助言、研究論文の構成とまとめ方といった内容で、「研究に興味はあるけれど漠然としていてテーマが絞り切れない」、「取組始めたけれど進め方に迷っている」、「まとめ方がわからない」等、研究に関する悩みや疑問を抱えた14名の受講生が3グループに分かれて、交流しながらきめ細かいアドバイスを受け、大変、満足度の高い研修となりました。また、令和5年度『看護研究・活動報告会』を令和6年2月22日(木)に開催します。12月1日まで演題を募集中ですので、会員の皆さんが職場でおこなった研究や日頃の取組の成果をまとめて発表してみませんか!? 活動報告も大歓迎です。どしどしご応募ください。(詳しくはホームページをご覧ください)

川崎市看護協会トピックス



川崎市看護協会

看護職の現場を訪問しています!

市内看護職の皆さんに当協会の活動をご理解いただき、多くの方に会員となって応援していただくために、会員委員会委員や協会役員が職場訪問を行っています。8月中は6ヶ所を訪問。病院や区役所で働く看護職に向けて、協会の様々な活動を紹介しました。

こんな感想が寄せられています

市看護協会へは、入会金不要で年会費5,000円だけで入れると初めて知った。

看護工学プロジェクトCHANGEや委員会活動でも新しい動きがあることがわかった。

お時間のとれる施設があれば、是非、お声かけください。

「第3回 理事会」開催 7月7日

審議事項

- 1 令和6年度川崎市予算編成等に関する要望書(案)について 承認
- 2 看護自主活動助成金交付要綱(案)について 承認
- 3 その他「交通費・日当等の支払い方法への口座振り込みへの変更について」 承認

「令和6年度 7月14日、19日 川崎市予算編成等に関する要望書」提出

川崎市内は県外他地域に比べ離職率が高い傾向にあり、当協会に病院や訪問看護などの関係者から、対策を切望する声が届いています。こうしたことを踏まえ、看護職の人材確保と定着に関する具体的な対策の検討について要望しました。

その結果、市議会において「看護師確保対策」について、代表質問として取り上げていただき、当局からは「離職状況に関する現状把握・要因分析を行い、更なる定着促進に向けて看護協会などと連携しながら検証を進める。」との答弁がありました。当協会も取組を検討します。

神奈川県看護協会を表敬訪問 8月23日

川崎市看護協会は神奈川県内にあり、県と市と両方の協会の会員となっていていただいている方も多いので、今後も神奈川県看護協会との連携を重視していきたいと考えています。会長、新副会長、新常務理事で訪問し、有意義な懇談となりました。



川崎市看護協会

梶山副会長 千島副会長 堀田会長
八木常務理事

神奈川県看護協会

長野会長 長場専務理事 門根常務理事
杉浦常務理事

川崎中ロータリークラブ様から
AEDトレーニングユニットと訓練用人形が寄贈されました!

9/13(水)

地域に密着して職業奉仕・社会奉仕活動を行っている、川崎中ロータリークラブ(会長:長戸隆彦氏、直前会長:島利夫氏)から看護技術向上のための「AEDトレーニングユニット」と「訓練用人形」を2セット寄贈がありました。寄贈式で島前会長から「コロナ禍での看護師の皆さんの献身的な姿に感銘し、大変感謝しています。このユニットが少しでもお役に立てれば嬉しいです。」とコメントをいただきました。堀田会長からは「救急蘇生に関する研修会や、看護フェスタでの体験等で有効に使わせていただきます。ありがとうございます。」と感謝の意と今後の活用を誓い、感謝状を贈呈しました。



川崎中ロータリークラブ同様と協会事務局一同

研修でお会いしましょう



お知らせ

教育委員会企画

『令和5年度 看護研究・活動報告会』
演題募集

日時: 令和6年2月22日(木) 9:30~16:00

場所: 川崎市ナースングセンター研修室
 (WEB同時配信)

演題受付: 令和5年10月16日(月)~12月1日(金)

応募資格: 川崎市看護協会会員(演題申込時)

申込方法: 協会ホームページまたは二次元コードから
<https://www.kawa-kango.jp/nurse/training/>



市内で頑張る看護の仲間と学びを分かち合しましょう。参加したら元気出るよー

こんなこともやっています

協会の事業紹介

川崎市委託事業

● **不妊・不育専門相談センター** ●

不妊治療を受けようか迷っている、検査や治療方法を知りたいなどの悩みに、専門医師や不妊症看護認定看護師による相談を行っています。

日時: 月1回 土曜日 9:30~11:30
 (1組30分)

場所: 川崎市ナースングセンター相談室

申込方法: 電話での相談日の事前予約

電話番号: 044-711-3995



広告

人間工学に基づいた革新的な枕 プレゼントにも大人気

コンフォートピュディー

Comfortpude

- ◆ 首のための枕
- ◆ ロングセラー商品
- ◆ お好みで2つの高さを使い分けられます



お試しできます

価格20,000円

東洋羽毛首飾園販売株式会社 南東京営業所

TUK 東洋羽毛

0120-559-070

お問い合わせ、ご注文は、こちらの二次元コード又はお電話で



アンケートに答えてクオカードをもらっちゃおう!



協会へのご意見・ご要望をはじめ、協会ニュースへのご意見・ご感想等、簡単な質問に答えて応募してください。

応募された会員の中から抽選で3名の方に1,000円分のクオカードを差し上げます。

皆さまの応募をお待ちしています!

こちらから



編集後記

秋らしくなってきました。今年の夏は猛暑でしたが、久しぶりに制限のない夏休みは有意義に過ごせたでしょうか。数年ぶりに南の島へ行くことができたのでリフレッシュができました。また明日からも看護の現場へと戻っていきたいと思います。 広報委員一同